



2024年11月13日

各 位

会 社 名 株式会社アビスト
代表者名 代表取締役社長 進 頭
(コード：6087、東証スタンダード)
問合せ先 執行役員 経営推進部門シニアマネージャー
藤田 知哲
(TEL 0422-26-5960)

2024年9月期 取締役会実効性評価結果の概要について

当社は、当社の持続的な成長と企業価値の向上、社会の持続的発展への貢献のための基盤として、コーポレートガバナンスを経営上の重要な課題ととらえております。このたび、2024年9月期に開催された取締役会を対象に実効性の評価を実施し、その結果が取締役会において報告・審議されました。以下のとおり、評価結果の概要を公表いたします。

記

1. 評価方法・プロセス

・2024年9月期を評価対象期間として、下記6項目（設問数全24問）について実効性の評価アンケートを実施し、その回答の集計結果をもとに取締役会において課題や今後の取り組みについて協議いたしました。（2024年8月実施）

- (1) 取締役会の構成
- (2) 取締役会の運営
- (3) 取締役会の付議事項
- (4) 取締役会を支える体制
- (5) モニタリング
- (6) 投資家・株主・その他ステークホルダーへの対応

・実効性評価に関するアンケート結果に基づき、当社取締役会の現状及びさらなる向上のための対応方針について議論（2024年9月実施）

・対応方針についての議論を踏まえて、取締役会にて実効性評価及び今後の対応方針を決議（2024年11月実施）

2. 分析・評価結果の概要

上記による評価の結果、当社取締役会は上記評価項目について適切に機能しており、取締役会の実効性は確保されていることを確認いたしました。

一方、下記項目においては、改善の余地があることが確認されました。

- ・企業規模や事業環境を考慮した取締役会構成の柔軟な見直しが必要である点
- ・中長期的な成長投資に関して、より客観的かつ多角的な検証・議論が必要である点

3. 今後の取り組み

当社取締役会は、今回の実効性評価結果に基づく課題に対して、取締役会の更なる実効性向上のために必要な取り組みを実施し、改善に努めてまいります。

- ・企業規模や事業環境を考慮した取締役会構成の柔軟な見直しが必要である点
経営判断の迅速性とコーポレートガバナンスの実効性とのバランスが取れた役員の構成へ柔軟に見直しを図る必要があることから、2025年9月期の役員の選任について、取締役の員数を9名から6名へ変更し、株主総会へ付議することを決議しました。
- ・中長期的な成長投資に関して、より客観的かつ多角的な検証・議論が必要である点
成長投資に関する投資判断について、定性的な検証だけでなく、投資回収期間、ROIや正味現在価値などの客観的指標にて当社が定める基準をベースに定量的に検証・議論する枠組みを2024年9月度取締役会にて構築・整備致しました。今後、この枠組みに沿って投資判断をしてまいります。

4. 2023年9月期に設定した課題に基づく2024年9月期の取り組み実績

課題	実績
取締役会の構成員の多様性の確保に向けた環境の醸成	社内における取締役候補人材の多様性(女性や外国籍など)を確保するための仕組みづくりに向けたワーキングチームの組成し、議論を進めています。必要に応じ会議体に社外取締役が参加しました。 また、2024年10月より人材開発に関する専任者を設置いたしました。
中長期的な視点での戦略議論のさらなる充実	2024年9月期において、必要に応じ、取締役会後にワーキングを実施しました。 今後も継続し、充実した議論を目指します。

以上